

栗山香代子議員が陳情に賛成討論をした内容です。

「神奈川県緊急財政対策」の見直しを求める 意見書を県に提出することを求める陳情

神奈川県緊急財政対策については、これまで何度か本会議でも取り上げられ、昨年の12月議会でも陳情が出され、常任委員会でも審議されました。この間、理事者側でも、市長、副市長をはじめ、各担当部でも、自治体の役割を投げ出すかのような県のやり方への批判は大きいものがありました。県の説明会では、厚木市だけでなく、近隣市町村からも大勢の住民が参加し、見直しの訴えが続出しました。平成25年度の影響は当初言われていたものより少なくなっていますが、県は今後も進めようとしています。

理事者も市民も、ともに見直しを求めている神奈川県緊急財政対策について、この厚木市議会からも、県に意見書を提出すべきと考えます。

今回の常任委員会の陳情審議でただ一人発言をした釘丸議員が「各会派の意見を伺いたい」との呼びかけをしたものの、誰も応えず、何の発言も無く採決となりました。委員の不規則発言で「採決が最大の意思表示」との言葉がありました。議員として、それではないのでしょうか。市民からの切実な思いを受けて、賛成あるいは反対の理由を全く表明しないまま、採決をすることが議員としての説明責任を果たしていると言えるのか、大いに疑問です。

「厚木市立保育所民営化基本計画」(案) の慎重審議を求める陳情

この計画(案)では、現在市内にある厚木市立の保育所6か所を将来的に全部民営化するとしています。平成27年度には1か所を民営化するとしています。

市立保育所は、国・県からの補助がないため、民営化すれば130人規模の保育所で年間7300万円の市の財政支出を抑えることができるとしています。この金額を在宅保育等に回すとしています。本会議での答弁では、必ずしもそうではないことが明らかにになりました。今後、国の制度がどうなるか確定していないうえに、県も「神奈川県緊急財政対策」で民間保育所運営費補助金の見直しを言っています。

前提が崩れている以上、計画案の見直しが必要ではないでしょうか。

民間に移管されることを予想もせず子どもを入所させた保護者は、大きな驚きを持って市の保護者説明会に参加し、民営化に関しての様々な不安を訴えました。市は、それをどう受け止め、どのように対処するつもりなのか、説明会では明らかにされていません。子育て日本一を掲げる厚木市が、自治体として保育の責任を全て民間に押し付けてしまっているのでしょうか。市民はそれを納得できるでしょうか。

いくつもの民間・公立の保育所を見て回り、経験豊かな保育士がいる市立保育所だからとの信頼と安心で、大切なわが子を預けている保護者がいることを、市は自覚してほしいと、心から願います。

採決 結果	子育て 支援 ①	神奈川 ネット ①	市民 党 ①	新政 党 ①	民主 クラブ ②	市政 クラブ ②	公明 党 ④	あつぎ の み ⑦	改 革 の あ つ ぎ ⑦	日本 共 産 党 ②
採決 結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度厚木市一般会計 予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度厚木市公共用地 取得事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度厚木市後期高齢 者医療事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度厚木市国民健康 保険事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度厚木市介護保険 事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度厚木市公共下水 道事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度厚木市病院事業 会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「神奈川県緊急財政対策」の 見直しを求める意見書を県に 提出することを求める陳情	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○
「厚木市立保育所民営化基本 計画」(案)の慎重審議を求 める陳情	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○

議会ごぼれ話

☆会派がいろいろ

厚木市議会には現在10会派があり、一人会派は4つです。2年前の市議選直後は9会派でしたが、「みんなの党」の新人議員が市営住宅不退出問題で、会派を解消し一人ずつの会派に。その後、「みんなの党」を名乗っていた議員が、離党し「新政党」に名称変更したので、厚木市議会には「みんなの党」はなくなりました。

☆採決が会派で分裂

議会は主義や主張の同じ議員が集まって会派を結成します。議案や陳情に対しては態度を協議します。2月議会では、一般会計予算に民主クラブの2議員が賛成・反対に分かれ、市政クラブは焼却場候補地に関する陳情に反対と退席にわかれしました。何のための会派でしょうか。

☆予算書に「不能欠損」!

総務企画委員会の新年度予算の審議の時、ベテラン議員が「なぜ、不能欠損を計上しないのか?」。この言葉に委員会室の一同、哑然。

「不能欠損」とは税金や保険料などの未納が長引くなどで、歳入を諦めることです。担当課から「不能欠損は、決算の時に納められないと判断して計上しています」の説明がありましたが、「俺は今まで見たことない」と、言いほりました。

4月の法律相談は
4月25日(木)14時~
事前の連絡をお願いします。

2月議会報告会を計画してください。
みなさんの地域に伺います。